

令和3年度 事務事業評価シート（1）

[令和2年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	交通バリアフリー化整備促進事業			事業番号	017-015
担当部署名	建築都市	局	交通	部	公共交通担当 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(3) 市民の参加と協働による地域福祉の充実
			有	取組の方向性	④面的・一体的なバリアフリー化の推進		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール①住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.7
			有	取組	公共施設や都市インフラの計画的な更新・補修の推進		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
		無	現状値	—	目標値	—	
2	関連計画	—					
3	事業開始年度	平成 5 年度	点検年度	令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	堺市鉄道駅舎バリアフリー化設備整備事業補助金交付要綱 堺市地下高速鉄道駅舎バリアフリー化設備整備事業補助金交付要綱					

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	市民・鉄道利用者 (令和元年度堺市内鉄道駅一日平均利用者数：696,379人)
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	障害者、高齢者など鉄道利用者の施設利用上の利便性及び安全性の向上を図るため、鉄道事業者によるバリアフリー化を促進する。
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	鉄道事業者が実施する視覚障害者のホームからの転落や列車との接触事故防止を目的とした可動式ホーム柵、ホームからの転落を防止することを目的とした内方線付き点状ブロック、および軌道利用者の利用に供するために設置するエレベーターの整備事業に対して、事業費を一部補助することにより、バリアフリー化を促進する。
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	○可動式ホーム柵 (令和2年度：なかもず駅、令和3年度：北花田駅・新金岡駅) ○内方線付き点状ブロック (令和2年度：JR浅香駅) ○エレベーター (令和3年度から令和5年度：なかもず駅)
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	大阪市高速電気軌道株式会社
10	公民連携・協働事業	—

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標	点検年度
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和7年度	
11 バリアフリー化設備整備駅舎数	駅	目標値	0	2	2		—
		実績値	0	2			
		達成率		100%			
当該指標を選定した理由		バリアフリー化設備の整備を目的としている為、工事が完了した駅舎数を成果指標とする。					
目標値の設定根拠・算出方法		整備予定駅舎数 (令和3年度で事業完了)					
12 バリアフリー化設備整備補助実施件数	件	目標値	—	—	2		
		実績値	0	2			
		達成率	—	—			
当該指標を選定した理由		補助の実施によりバリアフリー化設備整備の促進が図られるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		可動式ホーム柵や内方線付き点状ブロックの補助予定件数 (指標を新たに設定)					

令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	交通バリアフリー化整備促進事業	事業番号	017-015
-------	-----------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト		(単位：千円)				
項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度	
	決算	決算	予算	決算	予算	
13 事業費 (a)	2,290	0	47,102	32,528	87,679	
財源内訳	国支出金					
	府支出金					
	市債					
	その他 (起債)			32,800	22,300	65,700
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
一般財源	2,290	0	14,302	10,228	21,979	
14 人件費 (b)	1,640	1,620	3,280	3,280	1,640	
15 年間経費(c)=(a)+(b)	3,930	1,620	50,382	35,808	89,319	

事業費の内訳		(単位：千円)						
項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源	
								16 事業費内訳
R3 予算	87,679	21,979	R3 予算					
R2 決算	2,728	2,728	R2 決算					
							R3 予算	
R2 決算			R2 決算					
R3 予算			R3 予算					
R2 決算			R2 決算					
R3 予算			R3 予算					
R2 決算			R2 決算					
R3 予算			R3 予算					

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費		区分	単位	令和元年度	令和2年度
17	①	可動式ホーム柵整備駅舎数	駅	0	1
	②	上記①にかかる年間経費	千円	1,620	32,260
	③	単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位		32,260,000
備考 (算出についての説明等)		異なる内容のバリアフリー整備内容を一緒に評価することができないため。			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見	
18	令和元年度から3年度にかけて実施予定の地下鉄御堂筋線の市内3駅の可動式ホーム柵の整備について、市が事業費の一部を補助することで令和2年度予定されていた1駅について実施することができた。 国の基準に準じて補助を実施し、障害者、高齢者など鉄道利用者の施設利用上の安全性の向上を図った。
KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）	
19	内方線付き点状ブロック整備については、令和2年度に堺市内全29駅について整備が完了し、可動式ホーム柵については、令和2年度になかみず駅において市内ではじめて設置された。鉄道事業者へ補助を行うことでバリアフリー化が促進され、障害者や高齢者などの鉄道利用者の利便性及び安全性の向上に寄与することができた。